

**日本時間 11 月 2 日火曜日午後 7 時からの公表**

## QS アジア大学ランキング 2022

### 日本の大学は国際競争力の向上が必要ーランキングで明らかに

(2021 年 11 月 2 日ーロンドン発) 高等教育の世界的評価機関である QS Quacquarelli Symonds (以下「QS」という。) は本日、第 14 版「QS アジア大学ランキング」を発表しました。今回の「QS アジア大学ランキング」は、過去最大規模であり、687 大学がランクイン、そのうち 40 大学が新規でランクインしています。

QS のリサーチ・ディレクターを務めるベン・ソーター (Ben Sowter) は、以下のように述べています。「今回の『QS アジア大学ランキング』の結果から、日本の高等教育機関は、アジア域内、特に中国の高等教育機関と比べ、勢いが減退していることがわかります。日本の大学の競争条件を公平にし、十分な研究予算を確保し、主要大学だけでなく全ての大学に対し、資金を最適に配分することが不可欠です。日本の大学の研究力を向上させるための 10 兆円規模の『大学ファンド』の設立は、正しい方向に向かうための重要な第一歩です。しかし、日本の大学の国際的な地位と競争力回復のためには、更なる施策が必要です。例えば、他の G7 諸国と協調して、留学生と外国人教員の受け入れを速やかに再開することが挙げられます。また、若年人口の減少や経済格差の拡大が進む日本で、大学教育を促進するためには、経済的余裕を確保するための改革を押し進める必要があります。」

今回の「QS アジア大学ランキング」の概要は以下の通り。

- アジア第 1 位に選ばれた大学は、シンガポール国立大学。同大学は 4 年連続でアジア第 1 位を維持。
- 北京大学はアジア第 2 位。前回から 5 位向上し、「QS アジア大学ランキング」開始以降、同大学にとっては最高順位。
- 香港大学と南洋理工大学 (シンガポール) は同順位でアジア第 3 位。
- 東京大学は前回より順位を 4 位向上させ、アジア第 11 位。東京大学の「Academic Reputation (学術関係者からの評判)」と「Employer Reputation (雇用者からの評判)」は、それぞれアジアで第 1 位に選出。これら 2 つの指標は、国内外の学術関係者や雇用者間における大学の評判を測るもの。「Academic Reputation (学術関係者からの評判)」は 13 万名の学術関係者を対象にした調査に準拠、「Employer Reputation (雇用者からの評判)」は 7 万 5,000 名の人事担当者や雇用を担当する管理者を対象にした調査に準拠している。

QS アジア大学ランキング 2022			
アジア上位 20 大学			
2022	2021	大学名	国・地域
1	1	シンガポール国立大学 (NUS)	シンガポール
2	7	北京大学	中国本土
3=	4	香港大学	香港特別行政区
3=	3	南洋理工大学 (NTU)	シンガポール
5	2	清華大学	中国本土
6	5	浙江大学	中国本土
7	6	復旦大学	中国本土
8	9	マラヤ大学	マレーシア
9	8	香港科技大学	香港特別行政区
10	10	上海交通大学	中国本土
11=	13	香港中文大学 (CUHK)	香港特別行政区
11=	15	東京大学	日本
13	11	高麗大学校	韓国
14	12	韓国科学技術院 (KAIST)	韓国
15	17	京都大学	日本
16	21	延世大学校	韓国
17	16	成均館大学校 (SKKU)	韓国
18	14	ソウル大学校	韓国
19	19	国立台湾大学	台湾
20	18	香港城市大学	香港特別行政区
21	20	東京工業大学	日本

© QS Quacquarelli Symonds 2004-2021 www.TopUniversities.com-All rights reserved.

## 本ランキングデータの裏側より見えるもの（日本）

- a) 今回の「QS アジア大学ランキング」では、108 校の日本の大学がランクイン。この数を上回る国はインド（118 校）及び中国本土（126 校）のみ。
- b) 前回のランキングと比較すると、今回ランクインした日本の大学のうち、65 校は順位が下落、36 校は順位が向上、5 校は同順位である。また、2 校が初めてランクインした。
- c) 海外の雇用者は日本の大学を引き続き高く評価している。「Employer Reputation（雇用者からの評判）」の指標で上位 100 位に入っている日本の大学は 14 校あり、これはどの国よりも高い割合である。
- d) 一般的に日本の大学は「Faculty/Student Ratio（ST 比）」の点で優れている。「Faculty/Student Ratio（ST 比）」の指標で上位 100 位に入っている日本の大学は 30 校ある。
- e) 一方、「Citations per Paper（論文あたりの被引用数）」の指標で上位 100 位に入っている日本の大学は 5 校のみ。また、「Paper per Faculty（教員あたりの論文数）」の指標で上位 100 位に入っている日本の大学は 12 校。この評価基準においては、89%の日本の大学が順位を落としている。
- f) 「Academic Reputation（学術関係者からの評判）」の指標で、上位 30 位に入っている日本の大学は 9 校、「Employer Reputation（雇用者からの評判）」の指標で上位 25 位に入っている日本の大学は 8 校ある。
- g) 教育への取り組み度合いを示す「Faculty/Student Ratio（ST 比）」の指標で、上位 30 位に入っている日本の大学は 10 校ある。東京医科歯科大学（第 2 位）及び横浜市立大学（第 4 位）はこの重要な指標で上位 5 位に入っている。
- h) 公立はこだて未来大学は、「Staff with PhD（博士号を持つ職員）」の割合で、第 1 位を獲得。その指標において、公立はこだて未来大学に次いで優れている日本の大学は東京農工大学で第 37 位。
- i) 岩手県立大学は、研究のインパクトを示す「Citations per Papers（論文あたりの被引用数）」の指標において、日本国内の順位が最も高い。この指標で上位 50 位に入っている日本の大学は、岩手県立大学と奈良女子大学のみである。この指標で東京大学は第 74 位、京都大学は第 79 位である。この指標で上位 100 位に入っている日本の大学は 5 校のみである一方、韓国の大学は 15 校、中国本土の大学は 53 校入っていることは注目に値する。
- j) 豊田工業大学は研究生産性を示す指標である「Paper per Faculty（教員あたりの論文数）」において、日本国内の順位が最も高い。アジア第 4 位である。上位 100 校のうち、日本の大学は 12 校あり、中国本土の大学は 49 校ある。
- k) 東京大学と京都大学は「International Research Network（国際研究ネットワーク）」の指標で上位 10 位に入っている。それぞれの順位は、第 4 位及び第 9 位である。国際

的な研究協力やパートナーシップの数を反映したこの指標で上位 100 位に入っている日本の大学は 14 校である。この指標では中国本土の大学が圧倒的に多く、40 校が上位 100 位以内に入っている。

- 立命館アジア太平洋大学は、「International Students (留学生)」の割合でアジア第 5 位、「International Faculty (外国人教員)」の割合でアジア第 18 位となった。国際教養大学は「International Faculty (外国人教員)」の割合でアジア第 16 位に選ばれている。日本の大学は引き続き外国人教員を集めており、この指標の上位 100 位に 19 校の日本の大学が入っている。また、日本の大学は留学生も誘引しており、「International Students (留学生)」の割合の指標で、17 校が上位 100 位に入っている。

QS アジア大学ランキング 2022		
日本国内での上位 20 大学		
2022	2021	大学名
11	15	東京大学
15	17	京都大学
21	20	東京工業大学
22	22	大阪大学
23	23	東北大学
28	32	名古屋大学
29	31	九州大学
30	29	北海道大学
40	40	早稲田大学
46	45	慶應義塾大学
49	49	筑波大学
64	66	神戸大学
83	77	広島大学
100	91	一橋大学
127	141	立命館大学
130	122	東京医科歯科大学
131	130	千葉大学
135	137	東京理科大学
141	169	長崎大学
145	136	東京農工大学

© QS Quacquarelli Symonds 2004-2021 www.TopUniversities.com-All rights reserved.

## メソドロジー

日本時間 11 月 2 日午後 7 時より [www.TopUniversities.com](http://www.TopUniversities.com) にて、アジア大学ランキング 2022 全体の閲覧が可能

—以上—

QS のアナリストとのインタビューについては以下までお問い合わせください：

### **Simona Bizzozero**

Director of Communications

QS Quacquarelli Symonds

[simona@qs.com](mailto:simona@qs.com)

+ 44(0)7880620856

## 各メディア編集者のためのメモ

### QS Quacquarelli Symonds について

QS Quacquarelli Symonds 社は全世界の高等教育機関関係者に対し、サービス、アナリティクス、コンサルを提供する世界有数の企業です。当社のミッションは、教育、留学、キャリア開発を通じて世界中の意欲ある人材の潜在能力発揮を支援することです。

2004 年に初めて QS 世界大学ランキング・ポートフォリオを発表し、現在では大学のパフォーマンス比較のためのデータとして世界で最も参照される情報源となっています。ランキングを掲載している主要ウェブサイト [www.TopUniversities.com](http://www.TopUniversities.com) については、2020 年に 1 億 4,700 万回以上閲覧された実績があります。また QS の調査結果は世界中の報道機関に紹介されており、2020 年の報道件数は 7 万 9,000 件を超えています。